

科目名		救急処置法						年度	2024	
英語科目名		First aid treatment						学期	前期	
学科・学年	スポーツトレーナー科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	本郷		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】										
いつ・どこで・突然のケガや病気にみまわれる教われるか予測ができません。スポーツトレーナーとして適切な救急処置の知識を学び、いざというときに対応できるようになる事は必須です。救急処置の基本知識、スポーツ現場における対応、外傷の対応、救命処置、内科的疾患の救急処置、現場における救急体制などを学びます。										
【科目の概要】										
スポーツ現場で発生した傷害や疾病などの処置方法について学びます。										
【到達目標】										
A. 心肺蘇生 B. 救急処置（外科・内科） C. 救急体制										
【授業の注意点】										
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 もう少し							
到達目標 A	理解と暗記が出来ている 90点以上	理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上	理解している 60点以下							
到達目標 B	理解と暗記が出来ている 90点以上	理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上	理解している 60点以下							
到達目標 C	理解と暗記が出来ている 90点以上	理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上	理解している 60点以下							
【教科書】										
JSPOリファレンスブック・AT教本										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
筆記試験・平常点										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		救急処置法				年度	2024
英語表記		First aid treatment				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	救急処置について	1	救急処置とは	救急処置の必要性を理解	1	
2	概論	スポーツと救急処置の関係	1	スポーツ現場における救急処置	スポーツ現場における救急処置の必要性を理解	1	
3	スポーツ現場の救急処置	スポーツと救急処置について	1	スポーツ現場における救急処置	スポーツ現場における救急処置の必要性を理解	1	
4	命を守る	救急処置と心構え	1	命を守る心構え	救急処置と実施における心構えを理解	1	
5	心肺蘇生法	心肺蘇生法の知識	1	心肺蘇生法に関する知識	知識全般の理解	1	
6	心肺蘇生法	心肺蘇生法の技術	1	心肺蘇生法に関する技術	知識を基にした技術	1	
7	救急処置	外傷時の対応	1	外傷時の救急処置	外傷時の救急処置の知識と技術	1	
8	救急処置	外傷時の対応	1	外傷時の救急処置	外傷時の救急処置の知識と技術	1	
9	救急処置	外傷時の対応	1	外傷時の救急処置	外傷時の救急処置の知識と技術	1	
10	内科的疾患	内科的疾患について	1	内科的疾患の基礎知識	内科的疾患の基礎知識を理解	1	
11	内科的疾患	内科的疾患について	1	内科的疾患の基礎知識	内科的疾患の基礎知識を理解	1	
12	救急体制	救急体制と組織運営	1	スポーツ現場の救急体制	スポーツ現場の救急体制を理解	1	
13	救急体制	救急体制と組織運営	1	スポーツ現場の救急体制	スポーツ現場の救急体制を理解	1	
14	救急体制	救急体制と組織運営	1	スポーツ現場の救急体制	スポーツ現場の救急体制を、ケースバイケースにおいて、自身で考えられる	1	
15	まとめ	知識の整理	1	今までの復習	様々な救急処置の知識を再確認する	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等